



# 赤麻小だより



令和2年度 第7号

令和2年8月17日

発行：栃木市立赤麻小学校長 印部 稔

【学校教育目標】 あかるい子 かしい子 たくまい子



## 2学期のスタートです



夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。本日、子どもたちが元気に2学期の始業式を迎えられたことを何よりもうれしく思います。これも、夏休み中にも、保護者や地域の皆様が温かい見守りをしてくださったおかげです。心より感謝申し上げます。

今年度の2学期は、夏休みが短縮されたため、4ヶ月を超えるという、子どもたちはもちろん、教職員もこれまでに経験したことがない長い2学期になります。そして「赤麻大運動会」をはじめ、修学旅行、宿泊学習、校外学習など、大きな行事がたくさん計画されています。今年が残念ながら新型コロナウイルス感染防止のため、中身が変更されたり、縮小されたりしてしまう行事もありますが、行事を通して子どもたちが成長できるよう指導していきたいと思えます。2学期も、あかまっ子のために皆様のお力をぜひお貸しただけますよう、よろしくお願い致します。

さて、2学期の始業式では子どもたちに次のようなことを話しました。（1学期の終業式に続き、2学期の始業式も密を避けるため、校内放送で行いました。）

夏休みが終わりました。いつもの年に比べると約2週間という短い夏休みでしたが、楽しい夏休みになったでしょうか？夏休み中、事故や事件に遭う人がなく、今日、皆さんの元気な顔を見ることができて、とても嬉しく思っています。

さて、今日から2学期が始まりますが、1学期の終業式に、皆さんに話したことを覚えているでしょうか？1学期皆さんがとても頑張ってくれたことと、「あかまっ子の合い言葉」が実行できたかどうか、そして「なぜ？」を考えることができたかどうか担任の先生と振り返ってほしいという話をしました。1学期の終業式の後、担任の先生を通して、皆さんの実行の様子を聞いてもらいました。その結果をお伝えします。

**あ 明るいあいさつ進んでしよう** 全体の89%、全校児童146人中130人ができていると答えてくれました。ただ朝の校門でのあいさつは少し明るさが足りない部分もあります。明るくあいさつをするとよいことがいっぱいあります。どんなよいことがあるでしょう？4月に話しましたが、もう一度考えてください。明るくあいさつをして損をすることはありませんよ。ぜひ、挨拶は自分から、大きな声で元気にしましょう。

**か 考え合い 学び合おう** 全体の88%、146人中129人ができていると答えてくれました。2学期は、一年間の中で最も勉強に適した学期です。今年はずっと以上の長い2学期ですのでなおさらです。友達と考え合ったり、教え合ったりする事で、お互いが賢くなっていくのです。ぜひ、友達と考え合い、教え合ってください。

**まっ まっすぐ目を見て、話を聞こう** 全体の79%、146人中115人ができていると答えてくれました。でも他の合い言葉と比べると少しできている人が少ないです。話をしっかり聞くと言うことは、勉強ができるようになるための一番のポイントです。また、目を見て話を聞くと言うことは、その人を大切にすることです。友達もできやすくなりますよ。

**こ 困難も不撓不屈で頑張ろう** 全体の92%、146人中135人ができていると答えてくれました。合い言葉の中で最もよい結果でした。2学期には運動会や、持久走大会があります。練習が辛いこともあるでしょう。嫌だなと想うこともあるでしょう。そんな時でも、あきらめずに頑張ると、後でよいことがたくさんありますよ。

**なぜ？を大切にしよう** 全体の64%、146人中94人ができていると答えてくれました。残念ながら、今回の振り返りでは一番低い結果でした。なぜ？と考えるのがなぜ大切なのでしょう？自分から行動できるようになるための一番のポイントです。自然になぜ？を考えられるようになるとよいですね。

さあ、長い2学期ですが、楽しい行事もいっぱいあります。あかまっこの合い言葉を考え、実行しながら、皆さんが成長してくれるのを楽しみにしています。先生方も頑張ります。ともに、頑張りましょう！

2学期は心や体を成長させ、学力を伸ばすのにも最適な学期です。今までできなかったことや、自分を成長させるためにやらなければならないことを意識させ、実のある充実した2学期になるよう、支援して参ります。どうぞご理解ご協力をお願いします。

## 今年度も引き続き学力向上推進リーダー配置事業拠点校に

昨年度に引き続き、今年度も、栃木県指定「学力向上推進リーダー配置事業」の拠点校となりました。小川三枝子先生が、学力向上推進リーダーとして藤岡地区の4つの小学校で、指導をしています。小川先生の本校勤務は、今年度は基本的に火曜日と水曜日で、主に国語と算数の授業を、担任と一緒に指導しています。担任の先生と一緒に授業の仕方を考えたり、授業の準備を行ったりしています。臨時休業中は全学年の算数プリントを作成しました。また、授業後に担任と共に授業についての振り返りを行い、成果や課題についての助言をしています。



【学力向上推進リーダー  
小川三枝子先生】

例年よりも長い2学期、小川先生の助言をいただきながら、教員の指導力を向上させ、児童の学力向上を目指す学期にしたいと思います。

## 外国語(英語)学習の充実に向けて



10年に一度の学習指導要領の改訂に伴い、今年度から小学校での学習において、変更された部分があります。その大きな変更点の一つが、5、6年生の外国語(英語)の教科化です。

昨年度までも、栃木市では1～6年生まで英語の学習を行ってまいりました。今年度も、昨年度同様、1、2年生は年間10時間程、3、4年生は年間35時間、「外国語活動」として英語の授業を行っています。一方5、6年生は、昨年度までは「外国語活動」として年間50時間行ってまいりましたが、今年度から年間70時間(週2時間)「外国語科」として、教科書を用いて学習しています。

1～4年生の「外国語活動」では、「聞く・話す」を中心とした活動を通じて、英語に慣れ親しみ、学習への動機付けを高めています。それを受けて、5、6年生の「外国語科」では、「聞く・話す」活動を十分に行った後で、文字を「読む・書く」活動も段階的に行います。英語でコミュニケーションを図る「基礎」を小学校で培い、中学校での英語の学習にスムーズにつなげることをねらいとしています。従って、中学校のように、文法事項を指導したり、単語を確実に習得させたりすることはありません。

「外国語科」では、これまで学習してきた簡単な語句や基本的な表現を繰り返し用いながら、「自分の考えや気持ちなどを、相手にわかりやすく伝え合う」ことも目標になっています。1学期は、ALT(外国語指導助手)のロレイン先生に、英語で自己紹介などのスピーチをしたり、6年生では、ロレイン先生と1対1で、簡単な質問に答えるスピーキングテストを行ったりしました。単元のゴールの活動を目指し、毎時間積み重ねて学習してきた成果が表れ、生き生きと自信をもって英語で自分の思いを伝える子どもたちの姿が、とてもすばらしかったです。

本校では、小学校で「英語嫌い」を子どもたちの中に生み出さないようにすることが大切であると考えます。そのため、英語の学習では、楽しく英語にふれ、使いながら慣れて少しずつ身に付けていくことが大切です。そのことを念頭に、授業の前には、担任とALTが授業の進め方や準備について必ず打ち合わせを行っています。2学期も、本校としての指導内容や指導方法を構築し、外国語(英語)学習の充実を図っていきたいと考えています。

